

C093-002-020

声明草案

今から四年前、私たちは一回科学者京都
会議を開き、核兵器による災害を鑑み、
また戦争放棄を明記した憲法を有するわが国
は、世界平和のために特別な貢献が出来るは
すであり、¹とくに、核戦争による人類破
滅の危険が増大しつつある今日、私たちは日
本国憲法第九条が、制定当時にもまして、大
きな新しい意義をもつにいたったことを確認
するとともに、平和に対する責任をあらため

(岩波書店原稿用紙)

て強調いたしました。そして、科学の登
見した真理を、人類の福祉と平和のみ役立
てるためには、科学者をふくむすべての人が
科学の成果の誤用、悪用を防ぐことに不断の
努力を続けなければならぬことを指摘し
ました。同時に、核兵器による戦争抑止の政策は、
戦争廃絶の方向に逆行するものであり、私
たちはこれに反対せざるを得ないことを警告いたし
ました。

その翌年開かれた第二次科学者京都会議で

(岩波書店原稿用紙)

は、アジアにおいて十数年にわたって繰り返
いるアメリカ合衆国と中華人民共和国との間
の敵対状態の存在が、アジアにおける緊張の
根源であり、世界平和の創造にとって著しい
障害となつてゐること、^{おした}おひ^かづて、日本が
核非武装の原則を貫き、一切の核兵器の持ち
込みを拒否することは、単に日本が戦争にま
き込まれる危険を減殺するだけではなく、アジ
アにおける核戦略体制の恒久化を阻止するの
に有効であり、世界平和に対する日本の大志

(岩波書店原稿用紙)

は貢献となるでありま^うしょうと^{私自身}表明しました。
その後今日にいたるまでの三年間に、米中
関係は好転するところか、拡大の一途を辿る
ヴェトナム戦争をめぐって、ますます悪化して
きました。一方、移動核ミサイル基地を中心
とする、核兵器体系の巨大化・多様化も、い
ちろるしく進展^をし^てま^いりま^す。さらにはまた、^画新^いわ
ゆる戦術核兵器の開發され、核兵器と通常兵
器の間には^{本質的}相違が^存在するにも、^の
かわらず、この二つの兵器体系が、あ^らた^かも

(岩波書店原稿用紙)

4'

4

す。
器体系に含まれていると考えるべきであり
とを明確に否定できないようなものは、核兵
と搭載あるいはそれを運搬する手段であるこ
て作戦を行って運びます。その場合、核爆弾
器を保有する国の側は核兵器体系を背景とし
うに、通常兵器による戦争においても、核兵
を、しかも、現在ヴェトナムに見られるよ
うに、

4
の行目

(岩波書店原稿用紙)

4'

連続するかの如き印象を一般の人たちに与える虞れさえ生じてきました。一九三三年八月、部分核実験停断条約は成立しましたが、その後、米ソ西国によつて地下核実験は継続して行われ、中国、フランスもまた核実験をくりかえし、核拡散の方向の一層活められようとしています。

この事實は核兵器による抑止政策が現実には破綻を招来しつつあることを物語つていゝといえましよう。このままで行けば、大気圏外

(岩波書店原稿用紙)

空間および海洋を含む地球表面に、各国の
核兵器体系が複雑に入り乱れて作動する恐る
べき状態のもとで私たちは暮らすことになる
でありましょう。核保有国々各自の核抑止政
策にきびしい自己批判を行^{わなくてはなりません。}
それと同時に、核未保有国私たちは核兵器
に依存して安全と保障しようなどと考えず、
核兵器に対抗して安全を保障することを第一
義とすべきであります。エセル・アインシュタ
イン宣言にみられるように、戦争廃絶という人

(岩波書店原稿用紙)

（自国と他国を問わず）

6

